

MPS-ABC 記録管理システム ユーザーガイド

このユーザーガイドは、新しい MPS-ABC record keeping environment に既に移行しているお客様を対象としています。新しいシステムに移行すると、メールで通知されます。

目次

前書き

1. MPS カスタマーポータルへのログイン
2. 設定
3. 栽培計画
 - 3.1 栽培
 - 3.2 その他の栽培
4. 在庫
5. 管理
 - 5.1 エネルギーメーター
 - 5.2 水道メーター
 - 5.3 ミックス
 - 5.4 配合肥料
6. 使用量の登録
 - 6.1 作物保護剤
 - 6.2 肥料
 - 6.3 エネルギー
 - 6.4 その他の燃料
 - 6.5 照明
 - 6.6 水
7. データを送信する
8. スマートフォンまたはタブレットでの利用
9. エクセル形式でレポートをダウンロードする
10. 担当者を追加する
11. 記録管理の環境設定について

前書き

MPS の新しい記録管理システムは、いつでも作物の環境データと使用状況データをすばやく簡単に記録できるデジタルツールです。このツールは、MPS-ABC 認証のすべての要件を満たしており、作物栽培の環境負荷の程度についての概要をお知らせします。使用状況を記録することにより、持続的に成長している度合いをリアルタイムで測定できます。これにより、製品の使用状況を把握しやすくなり、データを使用して会社の持続可能性を高め、コストを削減できます。

このツールでは、作物保護製品や肥料の使用状況を記録することができます。また、エネルギー、水、廃棄物の使用量のほか、購入した生産資材の場所、時期、量を記録することもできます。資材の在庫データ

および転売に関するデータを記録するためのオプションもあります。このユーザーガイドを記録管理システムの操作方法を学ぶために役立ててください。

ユーザーガイドは新しい機能が利用可能になるたびに更新されます。英語版の最新バージョンのユーザーガイドを参照するか、MPS ジャパンからの最新の連絡に従って利用してください。英語版の最新バージョンは、ウェブサイト www.my-mps.com の「Documents」にあります。

このユーザーガイドまたは記録管理システムに関する質問やコメントがある場合は、info@mps-jfma.net までメールでお問い合わせください。

1. MPS カスタマーポータルへのログイン

すでにアカウントの設定を終了している場合:

これまでの MPS 会員番号 (6 桁の数字) と MY-MPS へのログイン用パスワード (6 桁の英数) とは別に、MPS カスタマーポータルのアカウントとしてメールアドレスとパスワードをすでに設定済みの場合は、MPS のホームページ (www.my-mps.com) で画面の右上にある「Login」をクリックし、「Customer portal」を選択してください。MPS カスタマーポータルのログインページにアクセスできます。ログインページではメールアドレスとパスワードを入力します。

MPS カスタマーポータルのホームページ (Dashboard) では、「Details」メニューから新しいアカウントの追加が行えます。

記録管理システムは MPS カスタマーポータルにログイン後「Record-keeping environment」を選択します。新しいタブが開き「Company settings (会社の設定)」と「Sites (サイト)」を選択できる画面が表示されます。初めて使用する場合は次の 2. 設定を参考に「Company settings」を行っておきます。生産サイトを着いたした場合、「Sites」をクリックすると、生産サイトの概要が表示されます。ここで、記録管理の環境設定を入力し、質問事項に回答し、栽培スケジュールを作成して、使用状況を入力できます。

アカウントの設定を行っていない場合:

まず MPS カスタマーポータルのログイン用パスワードを設定する必要があります。

MPS のホームページ (www.my-mps.com) にアクセスして「Login」をクリックし、次に「Customer portal」をクリックします。次のページで「Request password」をクリックして、MPS カスタマーポータルのアカウントとして登録されているメールアドレスを入力します。入力したメールアドレスにパスワードを設定するためのリンクが記載されたメールが届きます。パスワードを設定すると、MPS カスタマーポータルが使用開始できます。その後は上記と同様に環境設定と使用状況の記録を行います。

認証資格の確認やロゴのダウンロードについて:

現在のところ、認証資格状況の確認や認証書および MPS 参加者ロゴのダウンロードは、従来通り MY-MPS のホームページから行います。MPS カスタマーポータルにも MY-MPS のログイン画面への移動メニューがあります。

2.設定

使用状況の記録を開始する前に、会社の設定、記録管理の環境設定を入力し、質問事項に回答しなければなりません。これは以前の MY-MPS を使用していた場合でも、改めて詳細を入力する必要があります。

1. 左側のメニューで、「record-keeping environment」をクリックし、「Company settings」をクリックします。
2. 農薬の MIND 情報を表示するかどうか、および在庫管理機能 (stock module) を使用するかどうかを指定します。選択しない場合、入力画面ではこれらの表示は省略されます。
3. 在庫管理機能を使用する場合は、設定を正確に入力することが重要です。「Preferred stock module (優先される在庫)」で、「Centralised (集中型)」または「Decentralised (分散型)」を選択します。会社が 1 つの生産サイトで構成されている場合、または複数のサイトを持っているが、作物保護製品と肥料がすべて同じ在庫場所またはサイトにある場合は、「集中型」を選択します。会社が複数の生産サイトで構成されており、サイトごとに作物保護製品と肥料の個別の在庫がある場合は、「分散型」を選択します。
4. データを保存して、「Back to dashboard」をクリックします。「Questionnaire (アンケート)」をクリックして質問に答えます。
5. 自社のブランド名 (trade name)、または他社ブランドの契約栽培があるかどうかを示します。データを保存して戻ります。
6. 次に「Sites」をクリックします。このページには各生産サイトのサブレコードがあります。各サブレコードについて、記録管理のための環境設定を入力し、生産サイト別の質問事項 (Site questionnaire) に回答します (図 1 を参照)。
7. 最初に記録管理の環境設定を入力します。アイコンをクリックすると、図 2 に示す画面が表示されます。これらの設定によりどのようなデータを記録するかを定め、データベースに送信され保存されます。設定の詳細については、次のページを参照してください。
8. 使用するオプションフィールドのボックスをオンにします。たとえば、照明や気象条件を記録するように選択できます。これらのフィールドで「Yes」を選択しない場合、フィールドは画面に表示されません。完了したら、「Submit my answers (回答を送信)」をクリックします。
9. 次に、「Site questionnaire」に回答します (図 3 を参照)。最初に「Area」タブの入力を行い、次に「Energy」、その後も各タブで入力を行います。「save」をクリックしてダッシュボードに戻ります。

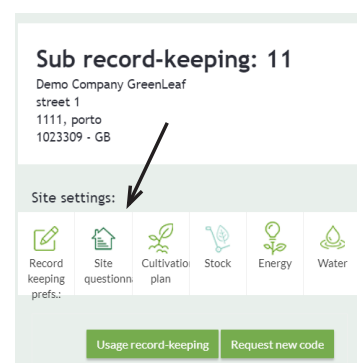
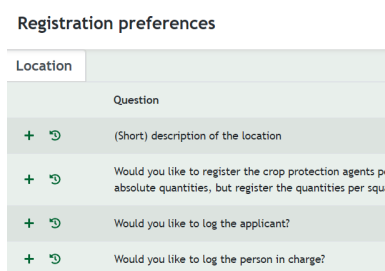
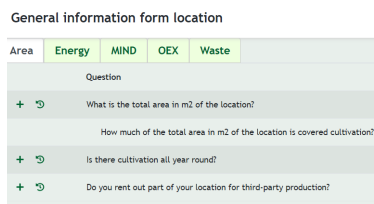


Figure 1



Location	Question
	(Short) description of the location
	Would you like to register the crop protection agents in absolute quantities, but register the quantities per square meter?
	Would you like to log the applicant?
	Would you like to log the person in charge?

Figure 2



Area	Question
Energy	What is the total area in m2 of the location?
MIND	How much of the total area in m2 of the location is covered cultivation?
OEX	Is there cultivation all year round?
Waste	Do you rent out part of your location for third-party production?

Figure 3

3.栽培計画

生産サイトの設定がすべて完了したら、栽培計画を作成できます。これは、作物と栽培面積の記録になります。これを行うには、サブレコードの下にある「Usage record-keeping（使用量の記録）」ボタンをクリックします。

3.1 栽培計画の作成

以下の手順に従って、栽培計画を作成してください。

1. 図1に示すように、「cultivation plan(栽培計画)」をクリックします。
2. 画面上部にある緑色の「+ Add plot」ボタンをクリックして、プロット(畑や温室の単位)を追加します。
3. 図2に示すようにデータを入力します。作物スケジュールを作成するときに、「Start date(開始日)」の下に、使用量データを記録する期間の開始日を入力します。後日変更を行う場合は、変更が適用される日付を入力してください。
4. 終了日を入力する必要はありません。プロットの面積と名前は必須です。これらは、作物をまだ追加していない場合にのみ変更できます。保温／冷蔵保管庫を持つサイトもここで作成できます。
5. 多段ベンチやハンギングなど栽培面積の重複部分がある場合は、「Extra crop layer(追加のレイヤー)」をクリックし、「Save」をクリックします。
6. 次に、作物を作成します。右上の「New crop(新しい作物)」をクリックします。図3に示すようなポップアップが表示されます。作物を作成するときに、プロット内の作物個別、あるいは作物グループごとに使用量を記録するかどうかを選択できます。作物グループごとに使用量を記録すると、作物の数が多い場合に記録作業が簡便になり利点があります。欠点は、どの作物を基準としているか明確でなく、記録作業に融通が効かないことです。作物グループごとに使用量を記録することを選択した場合、そのグループ内の個々の作物の使用量を記録することはできません。
7. プロットの一部を栽培用に用いない場合、「New crop」で「Uncultivated(非耕作)」を選択できます。作付けのない状態で肥料や農薬を使用する場合に使用してください。
8. 種苗や球根などについては、「Starting material(原材料)」を確認します。
9. 作成した作物をプロットにドラッグして、プロットを設定できます。作物をドラッグすると、図4に示すような画面が表示されます。また、種苗や球根などがMPS-ABCまたはGLOBAL-G.A.P.認定の栽培者のものかどうかを示すこともできます。
10. 必要に応じて、さらにプロットを作成します。

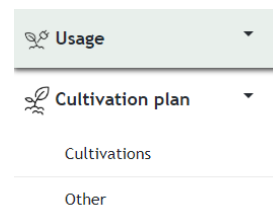


Figure 1

Figure 2

Figure 3

Figure 4

3.2 その他の作物の栽培計画

栽培圃場以外に農薬や肥料の使用がある場合は、「Other crops (その他の作物)」でそれらを記録できます。MPS-ABC は生産法人単位の記録管理システムであるため、全ての使用量を入力する必要があります。「Other crops」では組織培養や球根消毒を記録します。圃場外で使用した除草剤などは、使用量の記録時にチェックボックスで指定します。

1. 「Cultivation plan (栽培計画)」をクリックし、次に「Other (その他)」をクリックします(図 5 を参照)。
 2. 次に、画面の右上にある「Define (定義)」をクリックします。図 6 に示すような画面が開きます。
 3. 緑色の「+ Register (登録)」ボタンをクリックします。図 7 に示すような画面が開きます。最初のフィールドで作物を選択し、「Save (保存)」をクリックします。
 4. これで、上記で定義した作物をその他作物として選択できます。残りのデータを入力します。
- 栽培計画を作成するときは、使用量の記録する期間の開始日を開始日として入力します。後日変更を行う場合は、変更が適用される日付を入力してください。データを入力したら、「Save (保存)」をクリックします。
5. 他の作物が追加されました。
 6. その他のアクティビティを追加します。

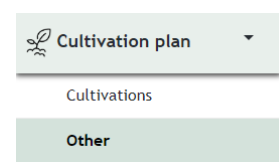


Figure 5

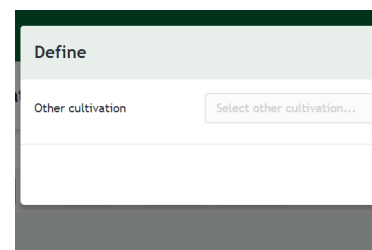


Figure 6

Figure 7

4.在庫

「Company settings (会社の設定)」で在庫を記録する設定を指定した場合は、以下の手順に従います。

1. 図 1 に示すように、左側のメニューの「Stock (在庫)」をクリックします。
2. 在庫を記録する画面が表示されます。ページの右側にあるドロップダウンメニューで、作物保護製品または肥料の在庫を表示するかどうかを選択できます。
3. 緑色の「+ New product or fertilizer (新しい製品または肥料)」ボタンをクリックして、製品または肥料をストックに追加します(図 2 を参照)。
4. ポップアップが開きます。製品または肥料を入力してください。次に、図 4-3 に示す画面が表示されます。
5. 要求されたデータを入力します。常に在庫しておくべき最小在庫数量を入力することもできます。最小数量を下回ると通知が届きます。
6. 製品を追加して、「Save (保存)」をクリックします。データはいつでも後で編集できます。
7. 製品を追加すると、図 3 に示す画面が開きます。ここで、「+」ボタンをクリックして、在庫数量を追加できます。「-」ボタンは在庫を廃棄するか返品する場合、数量を差し引きするために使用します。圃場で使用して使用量の登録を行なった分は、在庫から自動的に差し引かれます。
8. 緑色の「Edit (編集)」ボタンをクリックして、最小在庫数量を編集し、コメントを追加します。
9. メニューの右側にある「Stock (在庫)」をもう一度クリックすると、追加した在庫製品がリストに表示されます。製品をクリックして、数量を追加または控除します。注意: 使用して記録された使用量は、在庫から自動的に差し引かれます。ここでデータを編集することもできます。

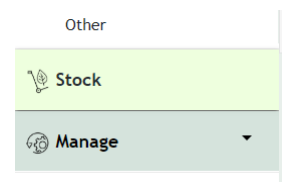


Figure 1

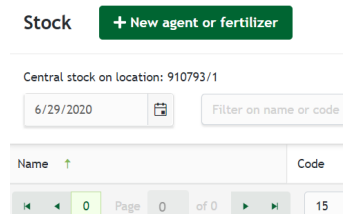


Figure 2

Figure 3

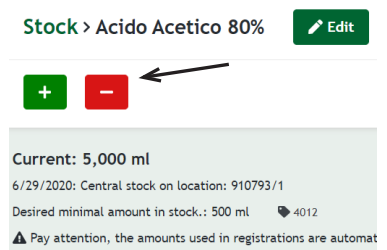


Figure 4

5.管理

使用量の記録を開始する前に、「Manage(管理)」画面でエネルギーメーターと水道メーターを作成する必要があります。また、この画面で配合肥料や肥料混合培土を作成することもできます。

5.1 エネルギーメーター

次のように、電気、ガス、または熱メーターを追加します。

1. 画面の上部にある緑色の「+ Meter(メーター)」ボタンをクリックします。図 2 に示すようにデータを入力します。電力会社などのサプライヤー名(supplier name)はオプションです。
2. 複数のエネルギーメーターがある場合、エネルギーメーターを作成するときに、「Total usage(合計使用量)」または「Usage per meter(メーターごとの使用量)」を選択できます。名前が示すように、最初のオプションでは、総使用量を入力します。2 番目のオプションでは、各メーターの測定値を入力できます。システムは、前回のメーターの読み取りに基づいて、その期間の使用量を自動的に計算します。
3. 複合的(物理的)エネルギーメーターがあり、メーターの読み取り値を個別に記録する場合は、メーターを作成するときに常に「Usage per meter」オプションを選択する必要があります。その上で、メーターの読み取り値または実際の使用量に基づいて使用量を入力するかどうかを選択できます。
4. あるエネルギー種別(電力など)の最初のメーターの作成で「Log total usage(合計使用量のログ)」を選択した場合、同じエネルギー種別の別のメーターを作成できないことに注意してください(図 3)。
5. 「Save」をクリックします。メーターは、使用量の記録データがない場合にのみ編集できます。

5.2 水道メーター

次のように水道メーターを作成します。

1. 画面の上部にある「+ Meter」をクリックします。図 4 に示すように、ポップアップが開きます。
2. メーターのタイプを選択します。
3. 使用量の記録方法を選択します(メーターごとの使用量または合計使用量)。「Save」をクリックします。メーターは、データが含まれていない場合にのみ編集できます。

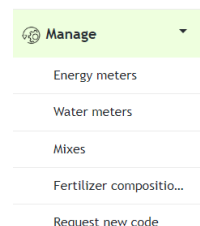


Figure 1

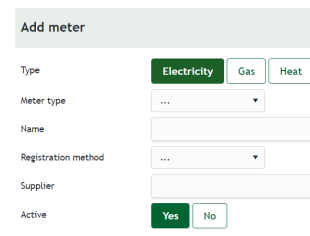


Figure 2

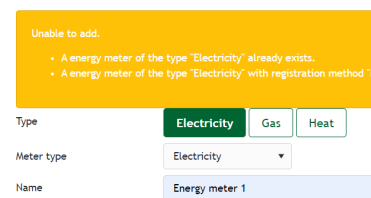


Figure 3

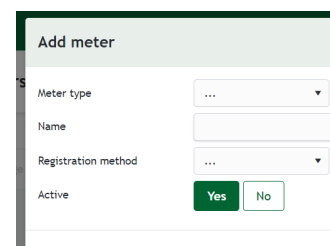


Figure 4

5.3 肥料や農薬のミックス

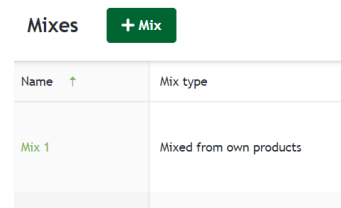
よく使う肥料や農薬の組み合わせを次のように作成できます。これには在庫を使う方法と使わない方法があります。

<在庫を使う方法>

1. メニューの「Manage」をクリックし、「Mix」をクリックします。
2. 図 5 に示すように、新しい画面が開きます。緑色の「+ Mix (混合)」ボタンをクリックして、組み合わせを作成します。
3. 図 6 のように「Mixed from own products (購入済み製品のミックス)」と「Bought as product (既製品の購入)」を選択できます。購入済み製品のミックスは一定量の組み合わせを一度に在庫から使用する方法です。既製品の購入は特定の肥料が混合された培土などを購入して使用する時に使います。
4. 購入済み製品のミックスでは、名前をつけて製品を組み合わせる量を登録します。使用量入力場面でこの名前を選択すると、複数の製品の使用量を一度に指定でき、その分が在庫から差し引かれます。
5. 既製品の購入では、例えば培土一袋では「20L」のように、混合後の全体量を指定し、そこに含まれる肥料の量を登録します。「Add to stock (在庫に加える)」をチェックすると在庫管理機能でこの培土の在庫を管理できます。使用量の登録時には培土の量を入力すれば、相当量の肥料使用量が自動計算されます。

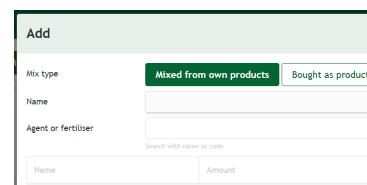
<在庫を使わない方法>

名前をつけて組み合わせを登録する方法は上記と同じです。在庫管理機能を使用していない場合、または既製品の購入を選択し「在庫に加える」にチェックをいれない場合、在庫に関連せず使用量登録画面で作成した組み合わせを利用できます。



Name	Mix type
Mix 1	Mixed from own products

Figure 5



Add

Mix type: **Mixed from own products** | Bought as product

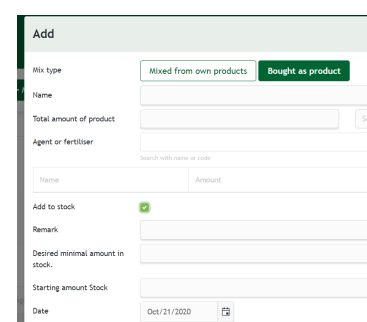
Name:

Agent or fertiliser:

Search with name or code

Name: Amount:

Figure 6



Add

Mix type: **Mixed from own products** | **Bought as product**

Name:

Total amount of product:

Agent or fertiliser:

Search with name or code

Name: Amount:

Add to stock: ☒

Remark:

Desired minimal amount in stock:

Starting amount Stock:

Date: Oct/21/2020

Figure 7

5.4 オリジナル肥料

次のように肥料組成を定義してオリジナルの肥料を作成します。

1. 左側のメニューで、「Manage (管理)」をクリックしてから「Fertilizer composition (肥料組成)」をクリックします。
2. 図 8 に示すように、新しい画面が開きます。緑の「+ Fertilizer composition (肥料組成)」ボタンをクリックして、肥料を作成します。
3. 図 9 に示すようなポップアップが表示されます。ここに肥料組成の詳細をパーセンテージまたは重量で入力します。後者の場合、常に総重量を入力します。比率は自動的に計算されます。
4. 「Save」をクリックします。定義した組成の肥料が追加され、使用量の登録画面で選択できます。

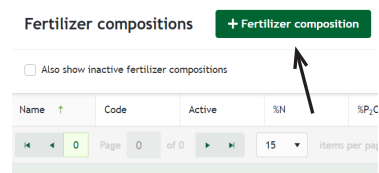


Figure 8

Figure 9

6.使用量

栽培計画、メーター、配合肥料およびオリジナル肥料を作成しました。これで、使用量の入力を開始できます。MPS-ABC カレンダーを表示して、MPS 登録期間がいつ終了し、いつ使用量データの登録をする必要があるかを確認します。これを行うには、「record-keeping environment」に移動し、「MPS Calendar (MPS カレンダー)」をクリックします。

6.1 作物保護剤

作物保護剤の使用量を次のように記録します。

1. 「Usage (使用量)」をクリックし、「Crop protection (作物保護剤)」をクリックします。
2. 「+ Registration (登録)」をクリックします。
3. データを入力します。在庫リストから製品を選択する場合は、「Select products used (使用した製品を選択)」で「Stock (在庫)」を選択します。在庫のある製品のリストが表示されます。
4. 在庫記録を利用していない場合、または使用した製品の在庫をまだ作成していない場合は、「Code list (コードリスト)」を選択します。選択できる作物保護剤のリストが表示されます (図 1 を参照)。
5. 製品名またはコードから検索して、関連する製品を選択します。「>>」をクリックして製品を選択します (図 2 を参照)。一度に複数の製品を選択できます。リストに製品が表示されない場合は、新規コードのリクエストを行う必要があります。
6. 在庫記録を利用しているが、まだ在庫にない製品を使用する場合は、使用量の入力を行う前に製品を在庫に追加する必要があります (図 3 を参照)。「Add to stock (在庫に追加)」をクリックして、必要な情報を入力します。
7. 緑の「>>」または名前をクリックして、製品が使用された作物を選択します。標準では全ての作物がここに入力されます。製品の使用ごとにこれを変更できます。
8. ページの上部にスクロールして戻り、「Save (保存)」をクリックするか、続いて別の製品の使用量を追加する場合は「Save & new (保存して新規作成)」をクリックします。
9. 使用量が保存されます。保存された使用量データを後で見返して、「Crop protection (作物保護剤)」をもう一度クリックし、使用日をクリックすると、使用量データを (最大 7 期間まで遡って) 編集できます。

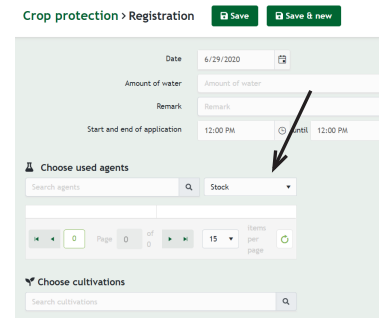


Figure 1

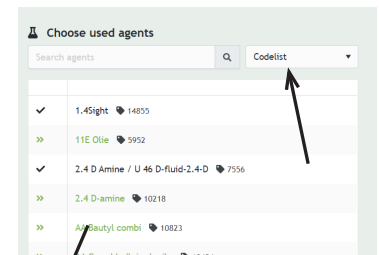


Figure 2

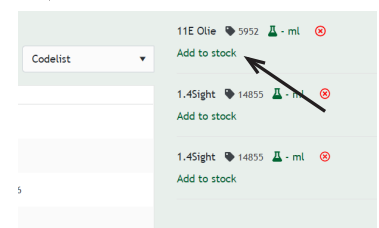


Figure 3

6.2 肥料

以下の手順に従って、肥料を追加します。

1. 「Usage(使用量)」、「Fertilizers(肥料)」の順にクリックします(図 4 を参照)。
2. 「+ Registration(登録)」をクリックします。図 5 に示すように、新しい画面が開きます。
3. データを入力します。在庫記録を利用している場合は、「Choose used fertilizers(使用した肥料を選択)」で「Stock(在庫)」を選択します。在庫のある肥料のリストが表示されます。在庫記録を利用していない場合、または該当する肥料の在庫記録をまだ作成していない場合は、「Code list(コードリスト)」を選択します。選択できる肥料のリストが表示されます(図 6 を参照)。
4. 配合肥料またはオリジナル肥料の使用量を追加する場合は、最初に「Manage(管理)」で作成する必要があります。詳細については、第 6 章: Manage(管理)を参照してください。使用量の追加の際は、mixes(配合肥料)または compound fertilizers(オリジナル肥料)のリストから該当する製品を選択できます。
5. 肥料名またはコードから検索して、関連する肥料を選択します。「>>」をクリックして肥料を選択します(図 7 を参照)。一度に複数の肥料を選択できます。リストに該当する肥料が表示されない場合は、新規コードのリエントを行う必要があります。
6. 在庫記録を利用しているが、まだ在庫にない肥料を使用する場合、使用量の入力前に肥料を在庫に追加する必要があります(図 30 を参照)。「Add to stock(在庫に追加)」をクリックして、必要な情報を入力します。
7. 緑の「>>」をクリックして、肥料が使用された作物を選択します。標準ではすべての作物がここに入力されます。肥料の使用ごとにこれを変更できます。
8. ページの上部にスクロールして戻り、「Save(保存)」をクリックするか、続いて別の肥料の使用量を追加する場合は「Save & new(保存して新規作成)」をクリックします。
9. 使用量が保存されます。後で「Fertilizers(肥料)」を再度クリックしてから使用日をクリックすることにより、過去にさかのぼって(最大 7 期間まで)データを編集できます。

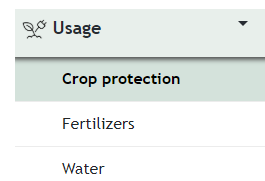


Figure 4

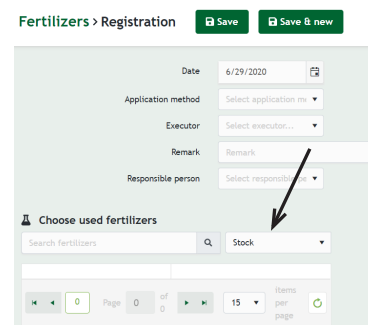


Figure 5

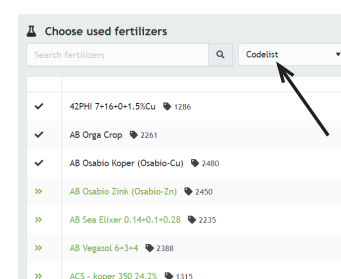


Figure 6

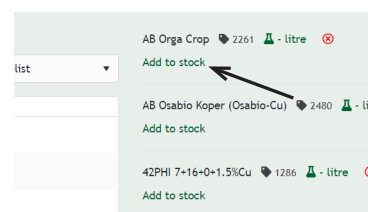


Figure 7

6.3 エネルギー

「Manage(管理)」でエネルギーメーターを作成したら、「Usage(使用量)」、「Energy(エネルギー)」の順に進み、エネルギー使用量を入力できます(図 8 を参照)。

1. メニューの「Usage(使用量)」をクリックし、次に「Energy(エネルギー)」をクリックします(図 8 を参照)。
2. 図 9 の例に示すように、ここで、「Manage(管理)」で作成したメーターが表示されます。
3. メーターをクリックします。新しい画面が開き、「+ Record(記録)」をクリックすると、図 10 に示すような画面が開きます。
4. データを入力して「Save(保存)」をクリックします。使用量が保存され、「Usage(使用量)」に戻って「Energy(エネルギー)」をクリックすると表示できます。関連するエネルギーメーターをクリックして、特定の日付のデータを編集できます。
5. 使用状況は、最大 7 期間まで遡って編集できます。

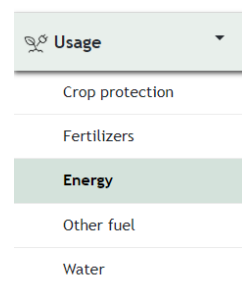


Figure 8

Energy meters

↑	Name	Meter type	Registration method
⚡	test dg	Electricity	Registration of total
⚡	Test	Green electricity	Registration per meter

◀ 1 Page 1 of 1 ▶ 15 items p

Figure 9

Usage add for meter 'test dg'

Date

6/29/2020

📅

Usage

Factor

1

Amount green

kWh

Distribution green-grey

Figure 10

6.4 その他の燃料

次のようにその他の燃料を入力します。

1. メニューの「Usage (使用量)」をクリックし、「Other Fuel (その他の燃料)」をクリックします (図 11 を参照)。
2. 図 12 に示すような画面が開きます。
3. 「+ Add record (レコードを追加)」をクリックします。図 13 に示すような画面が開きます。
4. データを入力して「Save (保存)」をクリックします。使用量が保存され、「Usage (使用量)」に戻って「Other Fuel (その他の燃料)」をクリックすると表示できます。記録日をクリックしてデータを編集できます。
5. 使用量は、最大 7 期間まで遡って編集できます。

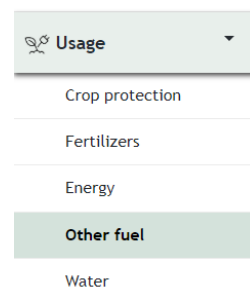


Figure 11

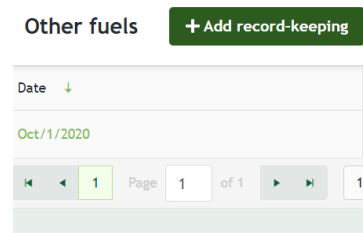


Figure 12

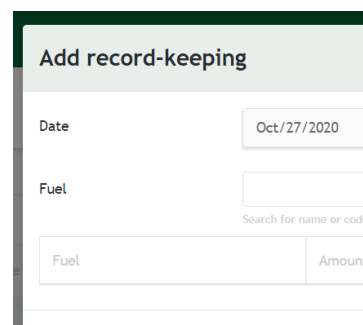


Figure 13

6.5 照明

次のように照明を入力します。

1. メニューの「Usage(使用量)」をクリックし、「Lighting(照明)」をクリックします(図 14 を参照)。
2. 図 15 に示すように、新しい画面が開きます。
3. 「+ Register for a period(1 期使用量の登録)」をクリックします。図 16 に示すような画面が開きます。
4. ドロップダウンメニューからライトのタイプを選択します。ここには、説明、照明の数またはその出力、および照明時間を時間単位で入力できます。「Save(保存)」をクリックします。使用量が保存され、「Usage(使用量)」に戻って「Lighting(照明)」をクリックすると表示できます。以前の期間の使用量を編集することもできます。
5. 使用量は、最大 7 期間まで遡って編集できます。
6. 同一期間に同じ照明を使用する場合は、入力した使用量の横にある四角いアイコンをクリックして、データをコピーできます。これにより、同じデータを 2 回入力する必要がなくなります。

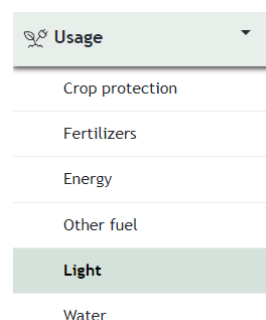


Figure 14

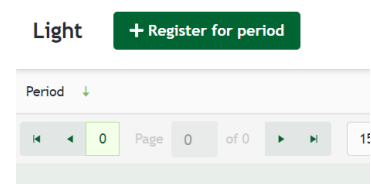


Figure 15

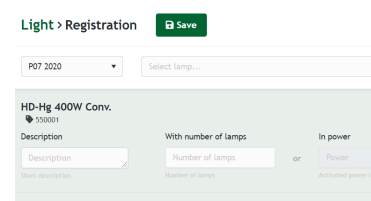


Figure 16

6.6 水

次のように水使用量を入力します。

1. 左側のメニューで「Usage (使用量)」をクリックし、次に「Water (水)」をクリックします(図 17 を参照)。
2. 図 18 に示すように、新しい画面が開きます。
この画面では、「Manage (管理)」で作成した水道メーターが表示されます。
3. 水道メーターをクリックし、「+ Registration (登録)」をクリックします。図 19 に示すような画面が開きます。
4. メーターの読み取り値をここに入力します。「Save (保存)」をクリックします。使用量が保存され、「Usage (使用量)」に戻って「Water (水)」をクリックすると表示できます。関連する水道メーターをクリックして、特定の記録日のデータを編集できます。
5. 使用状況は、最大 7 期間まで遡って編集できます。

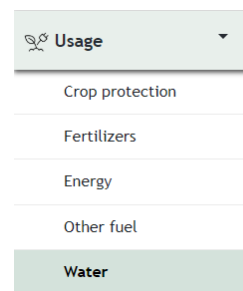


Figure 17

Water meters

Name	Meter type	Source	Registration method
1	Drainage	-	Registration per meter
◀ 1 Page 1 of 1 ▶ 15 items p			

Figure 18

Figure 19

7. データを送信する

各 MPS 期の終わりに、データを確認して送信する必要があります。この作業が行われていない場合、通知メールが届きます。次のようにデータを送信します。

1. MPS カレンダーを表示して、使用量データが送信可能となる期間の終了日を確認します。

これを行うには、「record-keeping environment」に移動し、「MPS Calendar (MPS カレンダー)」をクリックします。図 1 を参照してください。

2. メニューの「Send (送信)」をクリックします。

3. 図 2 に示すように、新しい画面が開きます。各期間の入力状況の概要が表示されます。期間の日付と送信状況(「Send (送信)」または「Not send (未送信)」)が見えます。

4. 提出する期間をクリックします。

5. 使用量データの概要を示す新しい画面が開きます(図 3 を参照)。

6. データを確認します。

7. 上部のメニューバーで「Agree (同意する)」をオンにして、「Send (送信)」をクリックします(図 4 を参照)。

8. データが送信されます。データの送信後にメニューの「Submit (データ送信)」をクリックすると、データが再度表示され、送信済みの期間の概要が表示されます。過去 7 期間まで遡ってデータを編集できます。特定の期間の使用量データを訂正して保存した場合、この期間について再度送信作業をする必要があります。これはいつでも行うことができます。

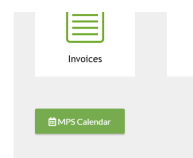


Figure 1

Send overview

Period ↓	Period
P07 2020	6/15/2020 → 7/12/2020
P06 2020	5/18/2020 → 6/14/2020
P05 2020	4/20/2020 → 5/17/2020
P04 2020	3/23/2020 → 4/19/2020
P03 2020	2/24/2020 → 3/22/2020
P02 2020	1/27/2020 → 2/23/2020

Figure 2

Send overview > P06 2020

Figure 3

Figure 4

8.スマートフォン・タブレットで使用量の登録を行う

会社とサイトの設定、栽培計画の入力が終わっていれば、スマートフォンまたはタブレットから使用量データを入力することもできます。以下の手順に従って、スマートフォンまたはタブレットにアプリをインストールします。

iPhone および iPad の場合：

1. Safari、Google Chrome、またはその他のブラウザを開きます。
2. <https://mps-registratietool-prod.my-mps.com/>にアクセスします
3. 図 1 に示すように、画面の下部にある「Share URL (URL を共有)」アイコンをタップします。
4. 次に、「Add to home screen (ホーム画面に追加)」をタップします (図 2 を参照)。
5. 必要に応じて、「MY-MPS」など、アプリに名前を付けることができます。
6. ホーム画面にアプリのアイコンが表示されます。



Figure 1

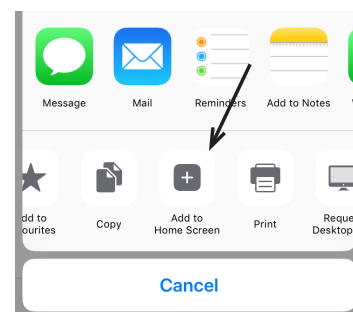


Figure 2

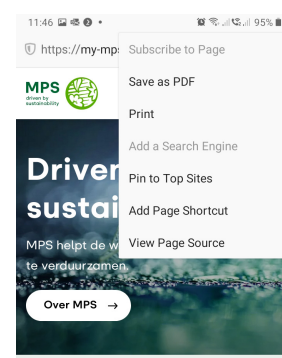


Figure 3

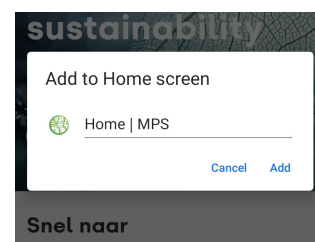


Figure 4

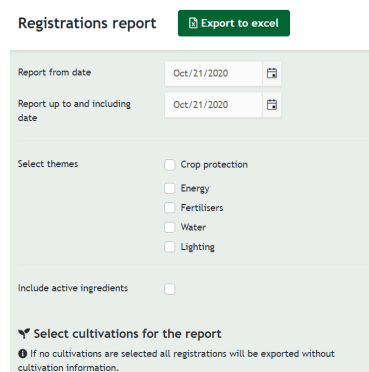
Android デバイスの場合：

1. Safari、Google Chrome、またはその他のブラウザを開きます。
2. <https://mps-registratietool-prod.my-mps.com/>にアクセスします
3. ブラウザで、共有アイコンをタップします (図 3 を参照)。
4. 次に、「Add shortcut to home (ショートカットをホーム画面に追加)」をタップします。
5. 必要に応じて、「MY-MPS」などの名前をアプリに付けることができます (図 4 を参照)。
6. ホーム画面にアプリのアイコンが表示されます。

9.エクセル形式でレポートをダウンロードする

以下の方法で、指定した期間内の肥料農薬の使用量など登録した情報をエクセル形式のレポートとしてダウンロードできます。

1. メニューから「Reports (レポート)」を選択し、「Registrations report」をクリックします。
2. 図 1 の画面が開きます。レポートに出力する期間・項目・作物を選択します。作物を選択しない場合、作物別の登録内容でなく合計量が出力されます、
3. 「Export to excel」をクリックします。エクセルファイル形式のレポートがダウンロードされますので、必要な場所に保存してください。



Registrations report [Export to excel](#)

Report from date: Oct/21/2020

Report up to and including date: Oct/21/2020

Select themes

- ☐ Crop protection
- ☐ Energy
- ☐ Fertilisers
- ☐ Water
- ☐ Lighting

Include active ingredients ☐

▼ Select cultivations for the report

ⓘ If no cultivations are selected all registrations will be exported without cultivation information.

Figure 1

10.入力担当者を追加する

複数の人が MPS-ABC のレコードを更新する場合、管理者は次のように担当者を追加できます。この人物は、システムにデータを記録することもできます。

1. ダッシュボードで、「Details(詳細)」、「Contacts(連絡先)」の順にタップします。
2. 図 1 に示すように、「Add contact person(担当者を追加)」をタップします。
3. 追加したい人のデータを入力します。
4. 作物保護剤や肥料の使用記録で作業実施者として記載するだけの人物を追加する場合は、担当者を電子メールアドレスなしで追加します。この人は自分でログインすることはできませんが、肥料や作物保護剤の使用状況を記録するときに名前を選択できます。
5. 使用量データを入力できるようにするには、担当者の電子メールアドレスを追加します。次に、画面下部の「Employee(従業員)」を選択します。
6. 「Create(作成)」をクリックします。担当者が追加されました。

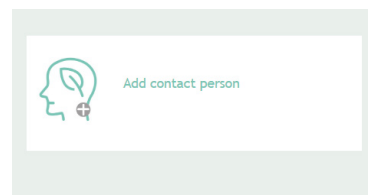
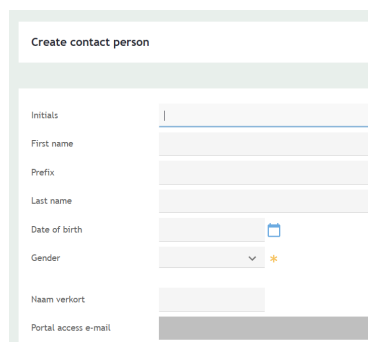


Figure 1



Create contact person

Initials

First name

Prefix

Last name

Date of birth

Gender

Naam verkort

Portal access e-mail

Figure 2

☒ Administrator

☐ Employee

Figure 3

10.記録管理の環境設定について

1. Brief description of the site（生産サイトの呼び名）:

データの入力や審査の際に識別できるように各生産サイトの呼び名や簡単な説明を入力します。

2. Do you want to log usage of crop protection products by application rate?（作物保護製品の使用量を散布量換算で記録しますか？）:

ここで「yes」を選択すると、作物保護製品の使用量を製品の使用量ではなく散布した面積(平方メートル)で入力できます。

3. Log applicator（作業実施者の記録）:

ここで「yes」を選択すると、記録している作物保護製品と肥料の散布者を記録できます。これは、MPS-GAP および GLOBAL-G.A.P の記録保持の必須部分です。

4. Log person in charge（管理責任者の記録）:

ここで「yes」を選択すると、作物保護製品と肥料の管理責任者の名前を記録できます。これは、MPS-GAP および GLOBAL-G.A.P の記録保持の必須部分です。

5. Log application method（散布方法の記録）:

ここで「yes」を選択すると、作物保護製品と肥料の施用方法をドロップダウンメニューから選択できます。これは、MPS-GAP および GLOBAL-G.A.P の記録保持の必須部分です。

6. Log equipment used（散布機器の記録）:

ここで「yes」を選択すると、作物保護製品と肥料を散布するために使用された機器を記録できます。機器の選択前に、まず機器の情報を登録する必要があります。これは、MPS-GAP および GLOBAL-G.A.P の記録保持の必須部分です。

7. Log weather conditions（気象条件の記録）:

ここで「yes」を選択すると、作物保護製品および肥料を適用したときの気象条件を記録できます。これは、MPS-GAP および GLOBAL-G.A.P の記録保持の必須部分です。

8. Log re-entry time（安全確保のための再入室時間の記録）:

ここで「yes」を選択すると、作物保護製品および肥料を散布した後に防護服のない状態で温室等に別の作業で入るまでの時間を記録できます。これは、MPS-GAP および GLOBAL-G.A.P の記録保持の必須部分です。

9. Log pre-harvest interval on label（収穫前日数の設定）:

ここで「yes」を選択すると、農薬のラベルに記載内容に基づいて、各有効成分の散布から収穫までの日数を設定できます。これは、MPS-GAP および GLOBAL-G.A.P の記録保持の必須部分です。

10. Log harvest date（収穫日の計画）:

ここで「yes」を選択すると、作物保護製品の使用状況を記録するときに、選択した各作物の計画収穫日を記録できます。これは、MPS-GAP および GLOBAL-G.A.P の記録保持の必須部分です。

11. Log reason for application（使用目的の記録）:

ここで「yes」を選択すると、作物保護製品の各有効成分の使用目的を記録できます。これは、MPS-GAP および GLOBAL-G.A.P の記録保持の必須部分です。

12. Unit of measurement for logging crop protection products（作物保護製品の記録の単位）:

ここでは、作物保護製品の使用量の記録に使用する単位を指定できます。注意:この単位はすべての作物保護製品の使用記録に適用され、この環境設定画面でのみ変更できます。

13. Unit of measurement for logging area（栽培面積の記録の単位）:

ここでは、栽培計画での面積の単位を指定できます。注意:この単位はすべての栽培計画の面積に適用され、この環境設定画面でのみ変更できます。